

平成 29(2017)年度 一橋大学大学院社会学研究科 総合社会科学専攻 博士後期課程 進学要項

社会学研究科は、社会科学の分野において、専門性と総合性を併せ持つ研究者と学識ある高度な専門的職業人を育成することを目的としています。総合社会科学専攻は、各専門分野における学術探究とその総合的発展を担う意欲と創造性を具えた人材の育成をめざしています。

博士後期課程は、高度な専門性と豊かな学識、卓越した研究能力を具えた自立的な研究者を育成することを目的としています。博士後期課程を修了した後、(1)大学等の研究教育機関での活躍をめざす方、(2)獲得した研究能力を生かして先端的な専門的職業人をめざす方、のいずれも歓迎いたします。

1. 募集人員 35名

2. 出願資格

本学大学院社会学研究科修士課程または本学の他研究科の修士課程を修了した者および平成 29 年 3 月に修了見込みの者。本研究科地球社会研究専攻修士課程を修了した者および平成 29 年 3 月に修了見込みの者も出願できますが、地球社会研究専攻と併願することはできません。

3. 出願期間

平成 29 年 1 月 12 日 (木) ～ 1 月 16 日 (月)

受付時間は 10 時から 12 時、および 13 時から 15 時まで。

土曜日・日曜日・祝日は受け付けません。

4. 出願書類・検定料

(1) 本研究科修士課程を修了見込みで引き続き進学を希望する者

書類等	提出者	摘要
写真票	全員	1 通。所定の用紙に必要事項を記入し、写真を貼付してください。
入学志願票	全員	1 通。所定の用紙に必要事項を記入してください。
進学願	全員	1 通。所定の用紙に必要事項を記入してください。
修士論文等	全員	修士論文 1 通 (ハードカバーで製本したもの) およびそれを複写したもの 3 通 (簡易製本したもの)。
修士論文等の要旨	全員	修士論文の日本語要旨 (4,000 字程度) または英語要旨 (1,600 単語程度) 4 通。A4 判の用紙を用い、表紙をつけ、「論文要旨」、論文名、および氏名を明記してください。
研究計画書	全員	4 通。日本語で作成し、2,000 字以内にまとめたもの。1 通については所定の用紙を表紙として用い、他の 3 通は、表紙も含めてそれを複写したもの。なお表紙には、進学後に指導を希望する教員名を明記してください。
在留カードの写し等	外国人志願者	1 通。在留カード (または外国人登録証明書 (在留期間、在留資格が明記されたもの)) の写しを提出してください。
受験票送付用封筒	郵送により出願する者	1 枚。長形 3 号封筒 (23.5cm×12cm) に簡易書留相当分 (392 円) の郵便切手を貼付の上、受験票送付先の住所、氏名を明記してください。 <u>本人が直接持参して出願する場合は不要です。</u>

(2) 本研究科の修士課程を既に修了した者、ならびに本学の他研究科の修士課程を修了見込みの者および既に修了した者

書類等	提出者	摘要
写真票	全員	1 通。所定の用紙に必要事項を記入し、写真を貼付してください。
入学志願票	全員	1 通。所定の用紙に必要事項を記入してください。
進学願	全員	1 通。所定の用紙に必要事項を記入してください。
修士論文等	全員	修士論文を複写したもの 3 通。ただし、修士論文を提出せず、修士の学位に相当する学位を授与された者または授与される見込みの者については、修士論文に代わる論文 1 篇の複写 3 通。なお、修士論文等の内容と博士後期課程での研究題目が大きく異なる場合は、修士論文に加えて、日本語または英語で作成した補充論文の提出を認めます (この場合も、3 通を提出してください)。
修士論文等の要旨	全員	修士論文あるいは修士論文に代わる論文の日本語要旨 (4,000 字程度) または英語要旨 (1,600 単語程度) 4 通。補充論文を提出する場合には、補充論文の要旨 4 通 (日本語 4,000 字程度または英語 1,600 単語程度) も提出してください。A4 判の用紙を用い、表紙をつけ、「論文要旨」、論文名、および氏名を明記してください。

研究計画書	全 員	4 通。日本語で作成し、2,000 字以内にまとめたもの。1 通については所定の用紙を表紙として用い、他の 3 通は、表紙も含めてそれを複写したもの。なお表紙には、進学後に指導を希望する教員名を明記してください。
修士課程修了 (見込) 証明書	全 員	1 通。
成績証明書	全 員	1 通。
在留カード の 写し 等	外 国 人 志 願 者	1 通。在留カード（または外国人登録証明書（在留期間、在留資格が明記されたもの））の写しを提出してください。ただし、在留カード（または外国人登録証明書）が交付されていない者は、パスポートの写しを提出してください。
受験票送付用 封 筒	郵送により 出願する者	1 枚。長形 3 号封筒（23.5cm×12cm）に簡易書留相当分(392 円)の郵便切手を貼付の上、受験票送付先の住所、氏名を明記してください。 <u>本人が直接持参して出願する場合は不要です。</u>
検 定 料 30,000 円	全 員	原則として <u>出願期間内</u> に 三井住友銀行 国立支店の 口座名：国立大学法人一橋大学社会学研究科 検定料口 口座番号：(普通預金) 7761819 あてに検定料 30,000 円分を振り込み、 <u>その明細書等の写しを出願書類と一緒に提出してください。</u> なお、日本政府（文部科学省）奨学金留学生は、検定料は不要ですが、その旨を証明する大学発行の証明書を提出してください。

5. 出 願 手 続

志願者のうち本研究科修士課程修了見込みの者は、上記出願書類を一括し、**社会学研究科事務室に持参してください。**なお、本研究科修士課程を既に修了した者、ならびに本学の他研究科の修士課程を修了見込みの者および既に修了した者は、持参もしくは下記宛てに郵送（書留郵便）で提出してください。

〒186 - 8601 東京都国立市中 2 丁目 1 番地 一橋大学大学院社会学研究科事務室

【 持参の場合 】

受付時間は 10 時から 12 時、および 13 時から 15 時まで。

● 本研究科修士課程から引き続き進学を希望する者

出願書類を社会学研究科事務室に提出し、受験票の交付を受けてください。

なお、やむを得ない事情で、ハードカバー製本された論文を提出できない場合に限り、論文を「仮提出」することを認めます。提出時に事情をうかがいます（なお、「やむを得ない事情」とは本人の病気や怪我、親族の死去、あるいは製本業者による納入の遅れといった予期せぬ事故、などを指します）。ただし仮提出する場合も、ソフトカバー製本等によって、論文の背の部分が確実に糊付けされて中身の差し替えが不可能な状態のものを、上記の提出期間・場所に本人が持参しなければなりません。ファイル・クリップ・紐綴じ等の形式は認めません。

仮提出した場合、ハードカバーで製本した論文を、あらためて 1 月 18 日（水）13:00 から 14:00 の間に社会学研究科事務室に再提出してください。仮提出だけでは修士論文を正式に提出したとは認められません。また、再提出する論文の内容は仮提出した論文の内容と同一でなければなりません。

● 本研究科修士課程を既に修了した者、ならびに本学の他研究科の修士課程を修了見込みの者および既に修了した者

あらかじめ検定料を振り込み、その明細書等の写しを出願書類と一緒に社会学研究科事務室に提出してください。

【 郵送の場合 】

封筒の表面左下に「大学院出願書類在中」と朱書きし、出願期間（平成 29 年 1 月 12 日～1 月 16 日）内に必着するようにしてください。（なお、1 月 16 日（月）は 17 時必着です。）

出願期間を過ぎて着いたものについては、1 月 13 日（金）以前の消印があるものに限り受け付けます。また、外国からの出願を希望する場合は、この「5. 出願手続」ではなく、別紙「外国からの出願方法について」に記載されている方法にしたがって出願してください。

6. 選考方法および選考基準

第 1 次試験では、提出論文および出願書類に基づき、受験者の研究水準、研究課題の学術的重要性、本専攻との適合性、研究計画書の実行可能性を基準に審査します。受験者の研究課題を指導できる教員がいることも審査の基準です。第 1 次試験の合格者に対して第 2 次試験を行います。

第 2 次試験では、面接による口述試験を行います。そこでは提出論文および出願書類にそって、研究上の理解力・説明能力、研究遂行能力等を基準に審査します。併せて、受験者の研究に必要な外国語の試験を面接時に行います。ただし、研究課題との関係において外国語の試験が適当でない場合には、日本語の史資料等についての読解試験を行います。第 1 次試験と第 2 次試験の結果を総合し、最終合格者を決定します。

(1) 第1次試験（書類選考）

第1次試験合格者発表および第2次試験（口述試験）試験室・時間割の発表

日	時	発表方法
2月15日（水）	13時	大学内掲示場（法人本部棟南側）への掲示およびウェブサイトへの掲載（URLは出願者に通知します）

(2) 第2次試験（口述試験）

試験場 一橋大学（JR中央線国立駅下車、南へ徒歩約10分）

日	時	試験科目
2月20日（月）または 2月21日（火） 9時30分～18時頃		提出論文および研究計画書に関する事項等について試験を行います。併せて、受験者の研究に必要な外国語の試験を行います。ただし、研究課題との関係において外国語の試験が適当でない場合には、日本語の史資料等についての読解試験を行います。（本研究科修了者・修了見込者は1人50分程度、他研究科修了者・修了見込者は1人70分程度）

※ 第2次試験の際には必ず受験票を持参してください。

7. 合格者発表

日	時	発表方法
3月1日（水）	13時	大学内掲示場への掲示およびウェブサイトへの掲載（合格者には郵送にても通知します）

8. 注意事項

（問い合わせについて）

- (1) 入学試験に関する事務は、すべて社会学研究科事務室で行います。
- (2) 社会学研究科ウェブサイトの「受験生の皆さんへ」欄には、「Q&A」が用意されています。その他、入学試験に関する照会は、住所、氏名を明記の上、書面または電子メールで行ってください。電話での問い合わせには応じられません。

（専攻および研究分野について）

- (1) 出願後の志望専攻の変更は認めません。
- (2) 入学後所属することを志願する研究分野を1つ選択して、入学志願票と研究計画書に明記してください（本要項4ページの演習担当教員一覧参照）。入学後、この研究分野に所属している教員以外を指導教員（第一演習担当教員）として選ぶことは原則としてできませんので、志願する研究分野は慎重に選択してください。研究分野についての詳しい説明は、社会学研究科ウェブサイトの「履修ガイド」にあります。

（提出書類について）

- (1) 志願者が記入する出願書類は、すべて印字または黒のボールペンで記入してください。
- (2) 出願書類および検定料は返却しません。また、「4. 出願書類・検定料」において明記されている場合を除き、各種証明書は必ず原本を提出してください。複写したものは受け付けません。

（修士論文の再提出について）

本学大学院社会学研究科総合社会科学専攻修士課程在籍者で、**この博士後期課程進学試験に不合格となった場合に翌年度も修士課程に在籍して修士論文を提出し直すことを希望する者は、平成29年2月21日（火）までに、社会学研究科事務室に「修士論文再提出願」を提出してください。**

これが提出されなければ、進学試験に不合格であっても修士課程最終試験に合格した場合には修士課程を修了することになりますので、十分注意してください。

（身体に障害を有する入学志願者の事前相談について）

身体機能に障害があり、受験時や入学後の学習に特別の措置を必要とする志願者は、その旨を出願期間前に社会学研究科事務室に申し出てください。申し出にしがたい、所要の措置を講じます。なお、この申し出によって不利益を被ることはありません。

（プライバシー・ポリシー）

入学試験合格者の成績は、入学後の教育・学業支援等の目的に使用することがあります。

（入学金）

博士後期課程進学試験の合格者については、入学の際の入学金納入は不要です。

（国際学生館景明館及び国際学生宿舎（学生寮）について）

本学国際学生館景明館及び国際学生宿舎（学生寮）への入居希望者は、平成28年12月中に本学ホームページに「入居者募集要項」を公表しますので、要項に従い申請してください。

<http://hit-u.ac.jp/shien/campuslife/apartment.html>

社会学研究科 ウェブサイト

<http://www.soc.hit-u.ac.jp/>

社会学研究科 電子メールアドレス

info@soc.hit-u.ac.jp

※ アドミッション・ポリシーについては以下のページをご覧ください。

<http://www.soc.hit-u.ac.jp/admission/>

平成29(2017)年度

一橋大学大学院社会学研究科総合社会科学専攻

演習担当教員一覧（研究分野別）

（※印のある教員は平成29年度の第一演習を担当しません。）

（社会動態研究）

町村敬志教授（社会学・社会調査）
菊谷和宏教授（社会学）
多田治教授（社会学）
深澤英隆教授（宗教学・宗教社会学）
小林多寿子教授（社会調査・社会学）
伊藤るり教授（国際社会学）
小井土彰宏教授（国際社会学）
佐藤文香教授（ジェンダー研究）

（社会文化研究）

加藤泰史教授（社会哲学）
大河内泰樹教授（社会哲学）
井頭昌彦准教授（社会哲学）
森村敏己教授（社会思想）
井川ちとせ教授（英語圏文芸思想）
久保哲司教授（独語圏文芸思想）
中野知律教授（仏語圏文芸思想）
洪郁如教授（中国語圏・台湾社会文化史）
五十嵐陽介准教授（言語学・音声学・ロシア語学）

（人間行動研究）

村田光二教授（社会心理学）
安川一教授（社会心理学）
稲葉哲郎教授（社会心理学）
※春日直樹教授（社会人類学）
大杉高司教授（社会人類学）
久保明教准教授（社会人類学）
児玉谷史朗教授（社会地理学・アフリカ地域研究）
上田元教授（社会地理学・地域環境論）
大坪俊通教授（地球科学）
大瀧友里奈教授（環境科学）

（人間・社会形成研究）

木村元教授（教育社会学）
中田康彦教授（教育社会学）
山田哲也教授（教育社会学）
太田美幸准教授（教育社会学）
尾崎正峰教授（スポーツ社会学）
坂上康博教授（スポーツ社会学）
坂なつこ教授（スポーツ社会学）
鈴木直文准教授（スポーツ社会学）
吉田裕教授（政治学）
中北浩爾教授（政治学）
田中拓道教授（政治学）

（総合政策研究）

倉田良樹教授（雇用関係・雇用政策）
西野史子准教授（雇用関係・雇用政策）
林大樹教授（コミュニティ政策）
猪飼周平教授（社会政策）
堂免隆浩准教授（都市・地域政策）
白瀬由美香准教授（社会福祉・社会政策）

（歴史社会研究）

渡辺尚志教授（社会史日本）
若尾政希教授（社会史日本）
石居人也教授（社会史日本）
※佐藤仁史教授（社会史アジア）
加藤圭木専任講師（社会史アジア）
阪西紀子教授（社会史ヨーロッパ）
森村敏己教授（社会史ヨーロッパ）
秋山晋吾教授（社会史ヨーロッパ）
中野聡教授（社会史アメリカ）
貴堂嘉之教授（社会史アメリカ）